

セーフティ教室を開催しました

5月6日(金)にセーフティ教室を開催しました。今年度のセーフティ教室は、第二中学校の牧野立子先生を講師としてお招きし「救命処置講習」を実施しました。1時間目は講義を中心に「救命処置がなぜ必要なのか」や「救命処置を実施するとどのくらい救命率が上がるのか」などについて学習しました。救命処置が必要である理由は①救命、②悪化の防止、③苦痛の軽減の3つであることを教わりました。また、4分以内に救命処置を行うと、生存率が50%以上であるのに対し、4分以内に行わないと20%以下に低下してしまうことを教わりました。1時間目の終わりにはペットボトルを使って胸骨圧迫法(心臓マッサージ)のやり方を学びました。胸骨圧迫を行う最適な速さは1分間に120回で、「うさぎとかめ」の曲のリズムに合わせて行うとちょうど良い回数になるそうです。全員で曲に合わせて胸骨圧迫の練習をしましたが、真剣に胸骨圧迫を行うことは想像以上に大変で、1分間続けると息が上がっている生徒もいました。2時間目は心肺蘇生用人形を用いて、負傷者発見から意識の確認、胸骨圧迫、AEDの一連の流れを班で実習しました。最初は戸惑っている様子でしたが、回数を重ねるごとにスムーズに救命処置ができるようになってきていました。実際に人形を使って胸骨圧迫をしてみると、ペットボトルで練習した時以上に体力が必要なことや、正しく胸骨圧迫するためには意外と強く、そして深くまで圧迫しなくてはならないことに驚いている生徒も多かったです。また、AEDに初めて触れる生徒も多く、学びの多い時間になったのではないかと思います。生徒たちの感想文では「中学生でも人の命を助けられるということを知り、人の役に立ちたいと思った」「万が一そういうことがあったら、見て見ぬふりをせずに人を助けたい」など今回の学びを生かして人の役に立ちたいという気持ちを感じる感想が多くありました。今回学んだ救命処置を実施する機会に遭遇しないことが一番ですが、万が一そういう場面に遭遇したら、今回のセーフティ教室で学んだことを生かし、人の役に立つ行動をしてほしいと思います。



中間考査2週間前です！

本日5月11日(水)で中間考査2週間前となりました。2年生最初の定期考査になります。1年生での反省を生かし、良いスタートダッシュを切ってほしいと思います。また、本日から学習計画表の提出が始まります。学年目標「先を見据えて行動できる生徒」にもあるように、2週間後のテストに向けて、見通しをもって学習に取り組んでいきましょう。